

校報  **水 緒**

第 1347号  
 (令和2年度 第30号)  
 洋野町立種市小学校  
 令和2年11月14日  
 児童数 228名

「知徳の方向 あやまらず 進め」

学習発表会スローガン  
**「感動」**  
 感…感謝を伝える  
 動…協力して動く  
 感動させる(できる)会にする

## = ごあいさつ =

ようこそ、種市小学校学習発表会においでくださいました。今年は、新型コロナウイルス感染対策により、それぞれの行事の予定が変更になり、学習発表会も今日のような寒い時期の開催となりました。また、屋内で行うということから参観の人数も制限させていただき、そのうえ、学年ごとの入れ替えにもご協力いただくというご不便もおかけします。これも、開催するためのやむを得ない対策とご理解をお願いいたします。

これまで子ども達は、「感動」のスローガンのもと、音楽、劇、ダンスに運動と発表練習に取り組んできました。

予行練習が終わった日、1年生の教室の前を通りかかると、黒板にその日の反省が記してありました。小さな1年生が、学級で反省会をしたようです。演技だけでなくそんな反省会もできるようになったのだと感心しました。

2年生は、いろいろな踊りが出てきますが、地域の方を「先生」として呼び習った踊りもあるそうです。1学期から行ってきた地域とのつながりを大事にした勉強の続きにもなっているようです。体育館で練習する子ども達の前には、「元気にさいごま



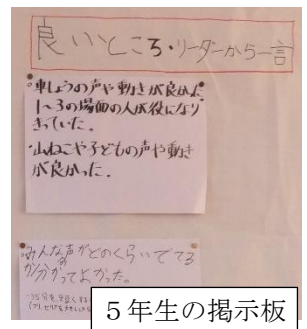
練習する子ども達の前には・・・

で」とか「大きいうごき」などと“めあて”を書いた画用紙を立てかけてがんばっていました。次の時間、3年生が入ってきました。今度は、さらに、歌詞もはり出しました。その中には、やはり「小さく」とか「きれいな声で」などと“めあて”が書き込んであります。そうやって練習した3年生は、はじめて習った笛の演奏や歌の発表を行います。

4年生は、グループに分かれての表現。なんと、内容も自分達で考えたそうです。休み時間には、廊下に笛の音が響いていました。先生に言われるのではなく“自分達で”、しかも“自分で気に入って”、練習していたようです。

海の子ブラスは、1学期にはコロナで練習できませんでした。それでも、今回、4年生がデビューします。発表の場がないかもしれなかったブラスですが、今年初めて発表することができます。

5年生は、宮澤賢治の大作です。それに、自分達の足りないところも重ねて劇をつくっています。廊下の掲示板には、「リーダーからの一言」が記されています。リーダーを中心にしながら取り組みが進められました。



5年生の掲示板

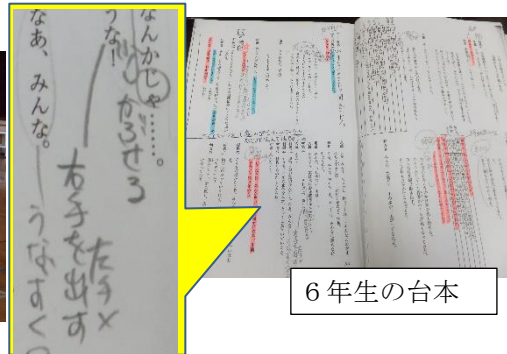
そして、6年生。台本には、身振り、セリフのタイミングなどなどびっしりと“書き込み”がありました。

たくさん子ども達の努力と思いがつなまって、そして重なって、最後の「おわりのことば」につながります。

どんな学習発表会が創り上げられるのか、子ども達が創るものですから、手作り感満載(?)でどこちなさもあるかもしれませんが、どうか、このような今までの練習や取り組みの様子も思い浮かべていただきながらご覧いただきたいです。



“立ち稽古”だけでなく、気持ちを落ち着かせるために静かに話し合う6年生



6年生の台本

たくさん不自由、ご不便をおかけしながらの開催になりますが、どうか、よろしく願いいたします。